

議 事 要 旨 (公開用)

- 件 名 令和元年度第1回月形町未来を考える委員会
- 日 時 令和元年11月25日(月) 午後5時00分～6時40分
- 場 所 月形町役場 大会議室
- 出席者 委員：13名(別紙のとおり) ※ 欠席：4名
町：上坂町長(委嘱状交付・諮問のみ)、堀副町長、古谷教育長ほか10名
委託事業者：㈱ぎょうせい1名
- 傍 聴 1名

1 開 会

【開会：企画振興課長】

2 委嘱状交付

【進行：企画振興課長】

【交付：上坂町長】

山田直樹委員へ委嘱状を交付

3 諮 問

【挨拶：上坂町長】

- ・ 大変お忙しいところ、お疲れのところ「令和元年度第1回月形町まちづくり推進会議」にお集まりをいただき、私からも感謝を申し上げます。
昨日は、冬に入るとい感じはありませんでしたけれども、今日は一転寒くなり、いよいよ冬がきたなと思っております。
- ・ 今、山田直樹委員については、12月26日までの短い間の委嘱ですけれども、他の委員の方々については、平成29年から2年間ということで、委員をお引き受けいただきました。月形の未来を考え、それぞれの立場でご意見をいただいていたことについて、本当に御礼を申し上げます。
- ・ 改めて、このまちづくり推進会議の条例は、平成16年から始まっております。そして、月形町の第4次総合振興計画前期が終わりました。この後、後期の5年間について、皆さんにしっかりと検討をいただき、10年間の長いスパンでまちづくりを考えるという中では、大変ご苦勞をおかけします。
- ・ いろいろな情勢の変化があり、特にここ数年は札沼線の廃止や月形学園が無くなるなど、課題がたくさんあります。私は、今だからこそ行政主導ではなく、町民すべての人と皆で共に支え合い、月形の将来へまちづくりをしていかなければならない、そのように思っ

おります。そのような意味では、皆さんがそれぞれの代表の立場で、このようにお集まりいただいていることに期待しています。

- ・ 今日、午前中も子どもの会議がありました。月形の子も達は本当に人に優しく思いやりがあります。先般、社会福祉協議会が中心となり、中学2年生が総合学習の時間に月形の福祉施設等を訪問しました。そのまとめの報告会で「月形が大好きだ、一時はいろんな経験を積むために、ぼくたちは月形のまちを離れるけど必ず月形に戻ってきたい」という発表をしてくれました。私は涙が出そうになりました。
- ・ 私は、この「月形町未来を考える委員会」というのは良い名前だと思っています。しかし、いろいろ夢とロマンを語り合っているのは、おそらくダメなのだろうと、危機感をもって月形のまちづくりの具体的な有り様や施策のことを皆さんと考えていかなければならないのだろうとっております。もう一方で大きな夢やロマンを語り合い、現実には厳しいものがありますけれど、子どもからお年寄りまで町民みんなが一つのまちづくりに向かい、しっかりと協調し連携していけば、必ず夢や希望が叶い現実になるものだと思っています。
- ・ しかし、町長になって3年過ぎましたが、町民の方たちから「そんな甘い考えではだめだ」、「真剣味が足りない」、「具体的なものが何も見えてきていない」、「町民一人ひとりの声をしっかりと聞いていない」というご批判もいただいています。
- ・ どうか皆さんには、12月までの限られた任期でありますけど、これからの後期計画について、しっかりとご検討とご意見をいただきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

【諮問：上坂町長】

上坂町長より山田会長へ諮問書を手渡し

【説明：企画振興課長】

次第資料1・7ページにより諮問内容を説明

4 会長挨拶

【挨拶：山田会長】

- ・ 会議に先立ちまして、お礼のご挨拶をさせていただきます。
- ・ 今日には本当に夜分寒い中、お疲れのところ令和元年度の第1回未来を考える委員会、各方面から参加いただきありがとうございます。
- ・ 今、町長がほとんど申し述べましたが、この会も平成16年から私もずっと携わり進んできた経過があります。その中で、あの頃よりも少子高齢化や人口減など、総合保健福祉計画もしてきましたけれども、本当に変わってきており思ったより進んでいます。
- ・ 他にも来年は札沼線も廃止なり、その辺の影響も相当大きいであろうと思います。また、同時進行している地域拠点施設整備計画や皆楽公園の周辺整備の検討など、町内のいろいろな立場の中で、重複して出られている方もおります。

- ・ そのような中、第4次総合振興計画の前期基本計画5年が終わります。後の5年を皆さんのそれぞれの立場から忌憚のない意見をいただき、この後、答申になろうかと思えます。ただ、膨大な資料ですので、12月の会議1回で本当に良いものになるか分かりませんが、皆さんのお知恵を拝借して良いものを作り、答申して参りたいと思えますので、忌憚のない意見をよろしくお願ひします。今日、少し時間はかかるかと思えますけれども、その辺、一つよろしくお願ひして最初の挨拶に代えさせていただきます。今日はどうもご苦勞様です。ありがとうございます。

○ 出席者紹介

- ・ 委託事業者：(株)ぎょうせい 今泉研究員

5 議 事

【進行：山田会長】

(1) 月形町第4次総合振興計画後期基本計画の策定について

ア 策定の概要について

【説明：企画振興課長】

次第資料3から5ページに基づき説明

(P-5)

- ・ 12月、1月にも審議会を開催予定

イ まちづくりアンケート調査の結果について

【説明：企画振興課長】

資料1-1に基づき説明

(P-1)

- ・ 有効回収率については、全国的なアンケート結果と比較しても低くありません。

(P-5)

- ・ 「生活環境施設が整っている」、「人情味や地域の連帯感がある」について、前回アンケートよりも大きくポイントが増加しています。

(P-7)

○ 30代の「住みたい」の意向が極端に少ない。

- ・ 「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」がともに全年代の中で一番多く、この年代へのPRが必要となっています。

(P-8)

- ・ 「買い物の便が悪い」の数値が大幅に改善しています。

ホームックニコットの出店やコンビニエンスストアが多いことなどが影響していると思われます。

- ・ 「道路・交通の便が悪い」が増えています。

J R 札沼線の廃線による影響と思われます。

- ・ 「保険・医療環境が不十分」については、大きく増加しています。

町立病院の問題が大きく影響したと考えています。

(P-14)

- ・ 年代的な特徴があります。
- ・ 30代以下では「医療体制」、「子育て支援体制」の改善度が全体と比較して高くなっています。
- ・ 40～50代では、「商業振興の状況」の改善度が全体と比較して高くなっています。

(P-15)

- ・ この図の中で、右下の部分（重要度が高く、満足度が低い）が、今後、最優先で改善していかななくてはならない部分であり、この施策を中心に考えていかななくてはなりません。

(P-16)

- ・ 「子育ての支援体制」、「医療体制」の改善度が全体に比べ高くなっています。

(P-17)

- ・ 「商業振興の状況」の改善度が全体に比べ高くなっています。

(P-18)

- ・ 「医療体制」、「路線バスの状況」の改善度が高くなっています。

(P-24)

- ・ 「経済的負担の軽減」が特出しており、今後も施策を高めていく必要があります。

(P-27)

- ・ 30代の参加者が非常に少ない状況です。

(P-30)

- ・ 「職員の資質・能力の向上、人材育成」、「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」が非常に多い状況です。

【質疑・意見】

なし

ウ 月形町人口ビジョンの改訂（案）について

【説明：企画振興課企画係長】

資料2に基づき説明

- ・ 本日、午前中に総合戦略の審議会があり、ご承認いただいた内容となります。
- ・ 後期基本計画との関連がありますので、要点について説明させていただきます。

(前段)

- ・ 平成28年3月に策定した人口ビジョンの改訂版となります。

- ・ 平成28年3月に策定した人口ビジョンと平成30年度末の人口に約470人程度の乖離があるため、今回、改訂するものです。

(P-1)

- ・ 人口ビジョンは、将来展望人口などについて「住民の認識を共有」ということが非常に重要となります。
- ・ 国でも人口ビジョンを作成しています。
国では、今回推計を行った結果、前回と大きな差がなかったため、人口ビジョンの改訂は行っていません。

(P-2)

- ・ 道内では、札幌市が転入超過ですが、その札幌市でも東京に対しては転出超過となっており、東京一極集中は続いています。
- ・ 東京圏の合計特殊出生率は、1.2程度と全国の1.42程度と比較しても低く、北海道についても1.27程度、本町についても1.27といずれも低い状況です。
- ・ 「①今後の基本的視点」及び「②目指すべき将来方向」について、第1期から変更ありません。

(P-12)

- ・ 1日あたりの「通勤・通学者の状況」になります。
- ・ 月形町から他の自治体へ通勤・通学している方は237人で、他の自治体から月形町に通勤・通学している方は607人になります。
607人をどのように移住定住に繋げるかが重要となります。

(P-22)

- ・ 本町の人口は、現在、「第2段階」に進行すると考えられます。
- ・ 「総人口」の減少率に対し、「生産年齢人口」の減少が著しい状況にあります。

(P-26)

- 先の審議会の経過を踏まえ、人口を推計しています。
 - ・ 「基準人口」
住民基本台帳人口と乖離がないように、10月1日現在の住民基本台帳人口を基準としています。
 - ・ 「合計特殊出生率」
現実的に目標として設定可能な範囲とし、全国平均を若干上回る「1.5」としています。
 - ・ 「将来の純移動率」
社人研準拠推計の仮定と同様に設定しています。
- ・ 令和27年(2045年)には、総人口は2,000人を割ります。

- ・ 生産年齢人口について、令和2年（2020年）で1,564人であったものが、令和22年（2040年）には753人と半減します。
- ・ 前回の人口ビジョンで、令和42年（2060年）に1,500人であったものが、今回は、1,302人となっています。
ただし、前回はスタート時点から実際の人口と200人以上のずれがありました。それを補正し200人程度下げたものと、結果としては、今回同じような曲線となっています。
- ・ 国勢調査の人口ではなく、実際の住民基本台帳人口を用いた推計も行っています。
直近10年分の実績を基に推計した結果、令和42年（2060年）で942人という非常に厳しい数値となりました。
ここ数年、自然減が顕著であったことから、住民基本台帳人口を基にした推計は採用しておりません。

（P-27）

- ・ シミュレーションのとおり、短期的には「社会増」の施策が有効となります。
「合計特殊出生率」については、絶対数が少ないため効果が限定的となります。
実際には、人口全体が増えなければ同じ牌の奪い合いになりますので、全体の人口を増やしていくということも当然、重要となります。

【質疑・意見】

なし

エ 前期基本計画の点検・評価について

[現計画点検・評価報告書]

【説明：企画振興課長】

資料3-1に基づき説明

（P-3）

- ・ 分野目標が6つに分かれています。
その下に「主要施策」があり、各種事業があります。
（P-11）
- ・ 全体211施策のうち、達成度評価「A」及び「B」が176施策あり、平均達成率は83.8%となっています。
- ・ 計画全体としては、概ね進捗したと考えています。
（P-13）
- ・ 「雇用対策」については、南空知で連携した協議会等を立ち上げて対策に加わっていますが、独自事業を実施できなかったことが要因となっています。

[ベンチマーク]

【説明：企画振興課長】

- ・ 「評価」について
 - 「○」は、令和元年度の目標を達成するもの
 - 「△」は、目標は達成しないが、平成25年度の実績よりも上昇しているもの
 - 「×」は、平成25年度の目標を下回るもの
- ・ 全88項目中、「○」が34項目、「△」が22項目、「×」が32項目になります。
「○」と「△」合わせて56項目が以前よりも上昇しているという状況です。
- ・ 現在、戦略も同様ですが、このような指標を用いて客観的に成果を測定する方法を用いることが一般的となっています。

【質疑・意見】

なし

オ 後期基本計画（案）について

【説明：企画振興課企画係長】

- 資料修正について
 - (P-3)
 - 「町立病院は、内科」のあとに「、外科」を追加
 - (P-5)
 - 「(5) 町立病院の充実」の重点プロジェクトを「5」から「1」へ変更
 - (P-6)
 - ベンチマーク
 - ・ 「特定健康診査受診率」の「令和6年度（目標）」数値を「60%」
 - ・ 「特定保健指導実施率」の「令和6年度（目標）」数値を「70%」
- 資料4に基づき説明
 - ・ 後期基本計画につきましては、まちの目指すべき将来像を定めた「基本構想」を実現するため、基本的な考え方や施策・事業などを定めた5年間の計画となります。
(分野目標及び施策項目)
 - ・ 目次にある「第1章から第6章までの分野目標」及びその下にある「1 保健・医療」などの「施策項目」については、前期基本計画と変更ありません。
 - ・ 「分野目標」6つ、「施策項目」33で構成されています。
 - ・ なお、基本計画の上位にある10年間の基本構想につきましては、先ほどのご説明のとおり今回は変更しておりません。
 - (更新全般)
 - ・ 平成27年に前期基本計画を策定しております。そこからの社会情勢の変化、国等の制度改正、本町における「現状と課題」の変化なども踏まえ、今後の5年

間で取り組むべき施策や事業について、全般的に変更または更新を行っています。

(重点プロジェクト)

- ・ 基本計画の中には、「重点プロジェクト」というものを設定しています。
- ・ 「重点プロジェクト」は、基本構想の44・45ページに掲載されています。
「限られた財源を重点配分し、積極的に推進する施策」となっています。
- ・ 「重点プロジェクト」は、前期基本計画の30施策に対し、後期基本計画は34施策を設定しています。
- ・ 「認定こども園の開設」など「一定の取り組みを終えたもの」や「重点プロジェクトとして施策効果の少なくなったもの」など、6施策を「重点プロジェクト」から外しています。
- ・ また、現在、この後期基本計画と同様に人口減少問題や地域経済の縮小などの課題に対応するため、「第2期創生総合戦略」を同じ5年間の計画として作成しています。
- ・ この創生総合戦略と一体的な取り組みを行うため、総合戦略の事業も後期基本計画の「重点プロジェクト」として位置付けしています。そのため、「重点プロジェクト」の数が全体で4施策ほど増えているという状況になります。

(施策体系)

- ・ 4ページのように、施策項目「1 保健・医療」の下に「施策の体系」というものがあります。
こちらも現在の状況を踏まえ、整理統合しております。

(ベンチマーク)

- ・ 前期基本計画の評価結果を踏まえ、このベンチマークの見直しも行っています。ただ、施策をすべて指標化するのは非常に難しく、国等も含め指標の設定に苦慮している状況でもあるということをご理解いただければと思います。
- ・ ベンチマークの目標値が低いと感じられる部分もあろうかと思えます。
ベンチマーク全般的に言えることですが、実績と目標値が同数であっても、この人口減少の中にあっては実質、上昇目標という状況です。その中で、目標として設定可能な数値として設定しています。また、前期基本計画で施策に一生懸命に取り組んだ結果、H30の実績が高くなり、目標値が低く見えるという場合もあります。「目標が低いのではないか」と思う部分もあると思いますが、前期計画のベンチマークの達成状況も踏まえ、各分野において評価していただければと思います。

(SDGs)

- ・ 全般の大きな変更点として、今回、SDGsのマークを各施策項目に設定しています。

- ・ 今後は、SDGsの取り組みが一層深まることが予想されますので、この計画の策定のタイミングで追加することが妥当と判断したところです。
- ・ SDGsの具体的な取り組みについては、まだまだこれからという状況で、具体的な段階には至っていません。
- ・ まず、基本計画とSDGsを関連付けることにより、みんなが意識してまちづくりを進める第1歩にしたいという思いから今回掲載させていただいております。

(各分野内容)

- 各分野の内容につきましては、先ほどの全般的な更新に加え、今後、予定されている大きな案件についても記載しています。

(P-5)

- ・ 「(5) 町立病院の充実」
町立病院の公設民営化の検討

(P-24)

- ・ 「(3) 生産性の向上、ブランド化の促進」
米穀乾燥調製貯蔵施設(こめ工房)の改修等
集出荷施設(ミニトマト、かぼちゃ)の整備

(P-31)

- ・ 「(2) 観光・交流資源の整備充実・有効活用」
北海道遺産・日本遺産である「樺戸集治監」の有効活用

(P-32)

- ・ 「(2) 観光・交流資源の整備充実・有効活用」
皆楽公園エリアの再整備
観光振興としての地域拠点施設整備の検討

(P-61)

- ・ 「(3) 開かれた信頼される学校づくり」
コミュニティスクール(学校運営協議会)の導入

- ・ 「学校給食の充実」
給食センターの建て替えの検討

(P-83)

- ・ 「(4) 公共交通の維持・確保」
JR札沼線の一部廃線に伴う代替バスの運行
新たな公共交通の導入(デマンド交通)
- ・ 「(5) 公共交通のあり方と地域拠点施設の検討」
バスターミナル機能をもつ地域拠点施設の検討

(P-84)

- ・ 「現状と課題」 ※9行目

光ファイバーケーブルの維持管理及び更新に多額の費用が見込まれる

(P-95)

- ・ 「(2) 効率的で無駄のない財政運営の推進」

(2)将来にわたって持続可能な安定した財政基盤の構築

(P-96)

- ・ 「(4) 公共施設等の総合的な管理の推進」

公共施設の適正配置、公共施設マネジメントの取り組み

(全体)

- その他の詳細につきましては、12月に開催を予定しております第2回会議までに各自ご確認をいただき、そのときにご意見等をいただければと考えております。

- ・ 現時点でご意見等あればお伺いしたいと思います。

また、会議終了後でもお気づきの点があれば事務局までお知らせいただければ、次回会議までに整理させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【質疑・意見】

なし

(2) その他

- 今後のスケジュールについて

【説明：企画振興課長】

- ・ 現委員の任期は12月26日までとなっています。
次期委員の推薦を今月中に各団体へ依頼する予定です。
計画を継続的に審議していくということを踏まえまして、可能であれば現委員が継続して次期委員をお引き受けいただければ幸いと存じます。
- ・ 次回の会議につきましては、12月26日の前に開催したいと考えております。
主に後期基本計画（案）について、ご審議いただければと思います。
- ・ 次回にいただいたご意見を1月にまとめたいと考えております。

6 閉 会

【挨拶：山田会長】

- ・ この後、12月に第2回の会議を行い、1月に向けて答申に繋げていきたい。
- ・ 今、説明のありましたように、委員さんが替わるということになりますと、また、一から始まることとなります。これだけのボリュームがありますので、皆さんには、その辺の協力をいただきたいということも含め、12月に進めていきたいと思っております。

- そのときは、今ほどの経過、後期計画、ベンチマーク、人口ビジョンなどいろいろあり、相当難しいので何から手をつけるのがベストなのか、本当に暗中模索する状況ですけれども、少しでも良いものにとっています。
- そのような中で、皆さんには今後5年間の将来に向かい、重点プロジェクト、子どもの政策、少子化など、いろんな面で思うところがあれば、1か月後の開催までに考えていただければと思います。よろしくお願ひしたいと申します。
- 今日は、長時間にわたり、お疲れのところありがとうございました。
振興計画に関しまして、今ほどのように1か月後に会議を催しますので、皆さんには一つ頑張って見ていただき、町長に答申を渡したいと申しますので、よろしくお願ひいたします。今日は大変ご苦勞様でした。

(終了：午後6時40分)

月形町まちづくり推進会議
「月形町未来を考える委員会」委員名簿

(任期:平成29年12月27日～令和元年12月26日)

No	選任区分	推薦団体	役職	氏名	出欠 11/25	備考
1	第1号 (施行規則第2条第1号)	月形町農業委員会	会長	渡辺 祥紀	×	
2	第2号 (施行規則第2条第2号)	月形町教育委員会	委員	岸上 希央	○	
3	第3号 (施行規則第2条第3号)	月形町社会教育委員	社会教育 委員長	伊藤 格	×	
-	第4号 (施行規則第2条第4号)	月形町行政改革推進委員会		-	-	
4	第5号 (施行規則第2条第5号)	月形町民生委員・児童委員協 議会	会長	会長	山田 啓一	○
5	第6号 (施行規則第2条第6号)	月形町更生保護女性会	副会長		西野 智佳子	○
6		月形町赤十字奉仕団	委員長		松山 俊子	○
7		月形町社会福祉協議会	事務局長		尾崎 美世子	○
8		月形町農業協同組合	代表理事 組合長		阿部 憲二	×
9		月形町農業協同組合青年部	副部長		山田 直樹	○
10		月形町農業協同組合女性部	監事		中村 三賀子	○
11		月形商工会	監事	副会長	岡 浩之	○
12		月形商工会青年部	部長		福村 卓也	○
13		月形商工会女性部	副部長		鳥潟 さつき	○
14		月形町環境保全推進協議会	理事		山際 榮二	○
15	第7号 (施行規則第2条第7号)	月形町行政区連絡会議	行政区長		開藤 悦夫	○
16		月形町行政区連絡会議	行政区長		對馬 照巳	×
17		月形町行政区連絡会議	行政区長		北地 敏幸	○

敬称略